


分類	省エネルギー活動 電気・油・ガス	環境活動事例				会社名: 038	
	適用					運用管理	題目
目的・概要	電力を監視し、平準化時間帯の電力ピーク時にコンプレッサ電源を商用からディーゼル発電に切替え						
改善内容	改善前 電力監視を行っており、設定値を超過しそうな場合は、空調や停止可能な設備を停止して対応していた。			改善後 コンプレッサの電源を通常は商用から供給し、電力監視を行う中で設定値を長期足そうな場合は、電源をディーゼル発電機から供給できるようにした。 (1～2時間/日の稼働、夏場に10日程度の運転)			
							
改善効果	エネルギー種類	エネルギー使用量		エネルギー削減効果	費用削減効果	投資金額	投資回収年数
	電力	改善前	改善後				
【その他の効果】 電力会社との契約電力を低く抑えられている。 平準化時間帯の電気使用量を抑えられる。							
評価	(取組実施初年度: 年度)						
	(取組実施翌年度)						
備考	電源の供給を商用からディーゼル発電機に変更する為、事業所単体としてのCO2の排出量は削減されていない。						